

# 新年 謹賀

## 個室ユニット推進協ニュース Number 107



- 1面 新春対談「健康と生きがいを考える」  
28年度政府予算案決まる  
ユニット議連に要望書を提出  
新年のご挨拶（会長・副会長）
- 2面 新年のご挨拶（委員長・支部長）
- 3面 施設紹介【せんねん村矢曾根の家】愛知県  
【連載】第1回 認知症あれこれ  
取組紹介【はだの松寿苑】神奈川県  
取組紹介【共生の里津福】福岡県
- 4面 介護ニュース・ダイジェスト  
ズバリ回答！人事・労務のお悩み  
こちら傍聴席「勝手に10大ニュース」  
【用語解説】特定個人情報って

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会 〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

### 新春対談 健康と生きがいを考える

## 「守り」より「攻め」の健康法を 家族だんらん 鍋料理がお勧め

80歳でエベレスト登頂を成し遂げ、登頂最高年齢記録を更新した三浦雄一郎さん。次の登山を視野に入れ、講演や執筆などで全国を駆け回っている。赤枝雄一推進協会会長と「健康と生きがい」について語ってもらった。

■お知り合いになつたきっかけは？

赤枝 十人以上前の話ですが、キリマンジャロ登山する直前、知り合いの元皇宮警察本部長の秘書から衛星電話で「東京倶楽部で三浦先生が講演されますが、聴かれますか」と連絡がありました。講演を聴きそびれたことがあり、すぐ「出席します」と返事しました。後日、講演の後、紹介していただいたのがお会いするきっかけでした。



「また一緒に山に登りましょう」と握手する三浦雄一郎氏と赤枝会長

三浦 それが緑でエベレストのベイスキャンプ（標高5350m）まで一緒に行ったこともあり、赤枝会長は伝説の登山家やエベレストのエイローバンド（黄色地層）にも詳しく驚きました。実は、3年前、赤枝会長は南極大陸の冒険ツアーで遭難したんです。飛行機が墜落してね。奇跡の生還。すごく運のいい人です。

■今はどんなお付き合いを？

赤枝 ゴルフしたり、食事したり、ずっとお付き合いしていただいています。

三浦 冒険仲間として機会があったら、是非、また一緒に登りましょう。

■エベレスト登頂世界最高年齢記録を更新されました。

赤枝 アタック前から娘さんの恵美里さんから刻々と情報が入っていましたから驚きというより、前人未踏の快挙。誰も真似ができない。すごい世界に入っているなと感じました。

■なぜ、山に挑むのですか？

三浦 60代のころ、高血圧、高血糖、肥満、不整脈で「余命3年」と言われました。父は99歳でモンブランの登頂に成功しましたが、その間、三回も骨折しま



した。負けてはいられない。このままではつらい。生きがいをもちたいと思えましたね。

■登頂までの経過を教えてください。

三浦 3度目のエベレスト出発前、トレーニングを積んで体力を整えていたのですが、不整脈が見つかり、登山方法を変えました。全ての工程を半分ずつにしました。「年寄半日仕事」ですよ。朝出て素晴らしい景色を眺めながら休憩を1時間取り、無理せず、泊まる。これを20日続けました。ベイスキャンプに着いたら心臓のリハビリが自然に終わり、結果として頂上までたどり着けた。もちろん周囲の皆さんの協力があったからこそです。既成概念にとらわれず、状況によって何がベストかを見つけることが大切ですね。

■登頂成功の瞬間、どんな思いでしたか？

三浦 単純に「諦めないでよかった」という思いでした。

■どんな健康法を実行されていますか？

三浦 「守りの健康法」と「攻めの健康法」があり、メタボを根本的に治すにはラジオ体操などの「守りの健康法」は無理です。私は足首におもり（1キログラム程度）を着け、20キロのザックを背負って散歩しています。メタボも骨



会長 社会福祉法人兼愛会 理事 赤枝 雄一

新年あけましておめでとうござい

ます。今年、社会福祉法人改革の実施と介護職員不足の中で進む施設整備と厳しい状況が予想されます。社会福祉法人として地域貢献の役割を果たし、施設の安定した経営に繋げる活動に力を入れてまいります。と思っております。

折も治りました。もつとも心臓は7回も手術しましたが。

赤枝 寒風摩擦をやっています。三浦先生はヒマラヤでもやっています。私の方はもつぱら家の中で。サプリメントに頼るのではなく、鍋にして何でも食べる。冷蔵庫にあるもの全部、家族だんらんで二通りの鍋料理を。例えば、肉じゃが、すき焼き、おでんを組み合わせて栄養バランスもいいですね。

三浦 食事、運動、休養が「健康3セット」です。タンパク質不足にならないようステーキは時には800グラムも食べます。卵、チーズ、野菜をセックにしてね。片足に1キロの負荷をかけて10分、15分散歩すると、普通の散歩の5倍の効果があると言われています。85歳になったらチョー・オユー（8200m）の頂上から滑降したいと考えています。

赤枝 私は睡眠不足が懸案ですが、三浦先生のアドバイスを参考に健康維持に努めたいと思います。

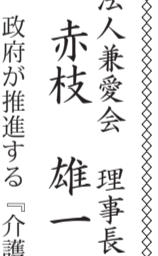
■みうら・ゆういちろう プロセス キーヤ、登山家、クラーク記念国際高校校長。1932年、青森市生まれ、北海道大学獣医学部卒。同学部助手を経て、26歳からスキーに挑戦。1985年、南アメリカ大陸の最高峰アコンカグアから滑降し、世界7大陸最高峰全峰からの滑降を成功させた。2013年5月23日、80歳で3回目のエベレスト登頂を達成し、史上最高年齢登頂記録を更新。「生きがい」「65歳から始める健康法」など著書多数。

### ユニット議連に要望書を提出

推進協は1月4日、個室ユニットケア推進議員連盟（石原伸晃会長）に要望書を提出した。

要望内容は以下のとおり。

- ①特別養護老人ホームの多床室におけるプライバシー保護のための改修基金の研修費用（改修後のソフト面の充実のため）の適用について。
- ②ユニットケア研修受講対象者の見直しについて。ユニット型施設職員だけでなく多床室職員も受講できるように制度の見直し。
- ③ユニットケア研修の委託契約の公平性について。



赤枝 雄一

政府が推進する「介護離職ゼロ」を実現するには、施設の安定した経営がかかせません。

推進協は、現実的な視点を持ちつつ、職員のスキルを上げることで、生産性向上に繋げる人材不足に打ち勝つユニットケアを推進してまいります。

本年も皆様方の変なぬぐご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### 28年度予算政府案決まる

社会保障費の自然増を圧縮

政府は12月24日、一般会計規模としては過去最大の96兆7200億円となる平成28年度予算案を閣議決定した。社会保障費は過去最大の31兆9700億円に達したが、診療報酬マイナスイナス改定などによって自然増を事実上5000億円程度に抑えた。

【社会保障関係予算】  
社会保障関係予算31兆9738億円（前年度比1.4%増）。一億総活躍社会の実現に向け、「改革工程表」に沿って「希望出生率1.8」「介護離職ゼロ」などに取り組む。

【介護離職ゼロ】に直結する緊急対策関連施策  
▽介護施設等の整備（地域医療介護総合確保基金、634億円）  
▽地域密着型施設等の整備や定期借地権設定のための一時的な建設・改修費への補助（320億円）  
▽介護従事者の確保（同基金、90億円）  
▽介護職員の負担軽減、生産性向上（ベビシッター助成（新規20億円）、介護ロボット普及促進（予算額未提示）など）  
▽地域包括ケアシステムの推進（地域包括支援センターの拡充など（454億円）、認知症初期集中支援等（195億円）、介護予防・日常生活支援総合事業の推進（299億円）など）  
▽仕事と介護の両立支援（介護休業給付水準引き上げ（40%→67%、44億円）、事業者への支援（新規6億円）など）。



副会長 佐賀支部長 諸隈 正剛

明けましておめでとうござい

ます。今、日本の社会保障は厳しい環境にさらされています。その一つ、「介護職人材難」は一時的な現象ではなく、その根元にあるものは少子化による若年労働者の減少が顕在化しているものであり、今後ますます厳しくなっていくことが確実視されます。また家族構成増加に伴って高齢者のみの世帯が増加しています。在宅サービス充実させることは大事で異論はありませんが、これも人材が不足していることとされています。

解決策として、①外国人労働者に来てもらうこと、②進化しつつある介護機器の導入、ロボット、ITの採用で一人当たりの生産性を高め介護職の給与を上げること、③根拠に基づいた賃金の高いサードパーティ提供だと思われています。①については省略、②については、例えば抱えない介護、ベッドサイドにウォッシュレットを設置ドサイドにウォッシュレットを無くすなどポイントフルタイムを無くすなど③については本年3月までに新しいテキストが三菱総研を主に出来る予定で、大きく期待しています。



副会長 社会福祉法人黒潮会 理事 野邊 正涼

新年あけましておめでとうござ

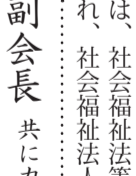
います。今年、社会福祉法人改革が実施される重要な年となります。ユニットケア研修の契約締結都道府県および受講生の更なる拡大に影響を受けて、たいへん厳しい状況ではありますが、社会福祉法人としての役目を果たし、地域貢献を進めてまいりたいと思っております。また、推進協の使命であるユニットケアを推進するためにも、府県および受講生の更なる拡大に影響を受けて、たいへん厳しい状況ではありますが、社会福祉法人としての役目を果たし、地域貢献を進めてまいりたいと思っております。



副会長 国際医療福祉大学 理事長 高木 邦格

新年あけましておめでとうござ

います。皆様方に於かれましては、四月には診療報酬改定が控え、介護と医療の連携を更に促す内容とお慶び申し上げます。さて、昨年の介護報酬改定は厳しい結果となり、且つ、介護職員の不足等、施設運営を取り巻く環境は、益々厳しさを増しており、この難局を会員の皆様と共に乗り越え、安心できる医療福祉の実現に貢献できるよう、尽力して参ります。本年も当協会の運営に協力していただき、ご理解とご協力の程、お願い申し上げます。



副会長 社会福祉法人サンライフ/サン・ビジョン 理事長 本野 暉尚

平成28年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本協議会が発足10年を過ぎ、平成30年度の診療報酬と介護報酬の同時改定に向け様々な動きがある中、今後とも介護報酬のマイナスイナス改定は避けられないと予想されます。施設経営は厳しい状況ですが、望の1年にしたいと思っております。ご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

大きな発展の可能性が広がります。介護職の専門性を重視し、少数精鋭でユニット型施設を考えること、本協議会の会員法人全てが、永きにわたり発展し続けていけるよう、共に力を合わせてイノベーションを起し、新しい門出、希望の1年にしたいと思っております。ご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

介護保険委員長



社会福祉法人久住会  
理事長  
藤村 二朗

新年明けましておめでとうございます。今年度は消費増税に伴う介護報酬改定、また、社会福祉法人改革として、社会福祉法の一部が改正される見通しです。全

ては、二〇二五年対応型社会保障に向けて大きく舵は取られるものと考えております。どの様な時代であっても地域社会と共に進んでいきたいと思っております。

総務企画・広報委員長



社会福祉法人八生会  
理事長  
栗野 裕治

新年明けましておめでとうございます。本年は、社会福祉法人改革(制度改正)が実施される大きな転換期の年になります。それぞれの社福の果たす役割・使命を再認識し、さらに「地域貢献」の推進に力を注ぎたいと思っております。本年も宜しくお願い申し上げます。

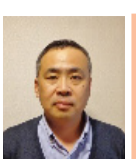
研修委員長・老健部会代表



医療法人博愛会  
理事長  
江澤 和彦

昨年4月、財源の厳しい中、今後の方向性を示唆するメリハリの効いた意義のある介護報酬改定がなされました。近いうちに介護サービスの質の評価が導入される可能性も高く、研修委員会としては、介護保険の目的である「尊厳の保持」と「自立生活の支援」に資するサービスを探索し、会員施設の質の向上に貢献すべく活動していきたいと思っております。今年も何卒よろしくお申し込み申し上げます。

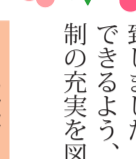
ユニットケア研修事業推進室長



特別養護老人ホーム望洋の郷  
施設管理者及びユニットリーダー研修事業3年目として、ケアプランを中心としたケアの実践、認知症の理解など一人ひとりの自律した生活支援について、考

え方や取り組みチームとしての関わりについて研修してまいりました。今後も継続して深めてまいります。また、宮崎支部は現在10法人13施設で

事務局長



特別養護老人ホームようじゅの里三保  
施設長  
赤枝 眞紀子

新年あけましておめでとうございます。ユニットケア研修も順調に進んでおります。皆様のご支援に感謝申し上げます。ともに、更にユニットケアの良さを広げたいと思っております。本年もよろしくお申し込み申し上げます。

全国支部長会代表



社会福祉法人パルツア事業会  
理事長  
田伏 清

明けましておめでとうございます。今年の全国支部長会は、各地にある支部会へ足を運びそれぞれの地域の行政対応の違いや、地方や都市の特性の違い等々について合同で開催し全国の支部様との顔が見える取り組みを考えて参りたいと思っております。

支部長 ※都道府県コード順



介護老人保健施設南方ナッシングホーム  
施設長  
眞壁 もり子

あけましておめでとうございます。昨年の全国研修大会 in 宮城・仙台2015は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお申し込み申し上げます。

山形支部長



社会福祉法人さくら福祉会  
理事長  
佐藤 芳明

新年あけましておめでとうございます。社会福祉法人をとりまく環境は厳しいものがございますが、地域包括ケア推進システムの推進に力を注ぎ、社会福祉法人としての使命を果たしたいと思っております。本年もよろしくお申し込み申し上げます。

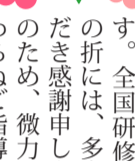
栃木支部長



社会福祉法人光誠会  
理事長  
古口 誠二

あけましておめでとうございます。栃木県支部長に委嘱され6か月が過ぎ、精進しているところであります。大きいマイナスイメージの影響により法人の今後の事業展開についての方向性を推進協とともに考えていきたいと思

埼玉支部長



社会福祉法人元氣村グループ本部  
グループ統括本部長  
佐々木 亀一郎

新年あけましておめでとうございます。全国研修大会 in 宮城・仙台開催の折には、多大なるご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。本年も会の発展のため、微力ながら努力致しますので変わらぬ指導を賜りますようお願いいたします。

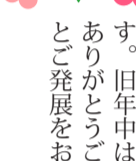
千葉支部長



特別養護老人ホーム鎌ヶ谷相裕園  
施設長  
青木 直忠

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

神奈川支部長



特別養護老人ホームみなと暮らしす町  
施設長  
広嶋 稔之

新年の抱負は変化に対応した組織構築です。介護分野の現状は今後さらに困難となり、従来の介護技術やユニット理論を根本的に見直す時が来ます。神奈川支部は斬新な発想を受け入れ、取り組みます。

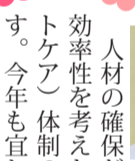
新潟支部長



社会福祉法人長岡三古老人福祉会  
理事長  
田中 政春

平成28年11月24日(木)、25日(金)に第10回全国研修大会 in 新潟を開催させていただきます。皆様にとって有意義な研修になるよう精一杯務めさせていただきますので、多くのご参加を心からお待ちしております。

福井支部長



社会福祉法人一乗谷友愛会  
理事長  
山本 武生

新年あけましておめでとうございます。人材の確保が厳しい情勢の中、生産性効率性を考えた新たな個別ケア(ユニットケア)体制の推進が必要になって来ます。今年も宜しくお願い致します。

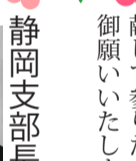
岐阜支部長



特別養護老人ホームふくろうの杜  
施設長  
上田 範子

年頭のご挨拶を申し上げます。消費税が8%に据え置かれる品目が増え、福祉への影響が懸念されます。今後も皆様方と共に推進協の活動に貢献して参りたいと存じますので、宜しくお願いいたします。

静岡支部長



特別養護老人ホーム梅香の里  
施設長  
花木 君子

新年おめでとうございます。静岡県地域ネットワーク会と静岡県個室ユニット型施設連絡会と共催で2月に児玉先生をお招きし、研修会を予定しています。今年もユニットケア、個別ケアの推進に精一杯微力ながら努めさせていただきます。

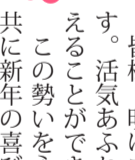
愛知支部長



社会福祉法人春生会  
理事長  
若月 剛一

これから公助の多くは望まれません。自助・共助により私たちの使命を継続して果たしていける様、皆様と手を携えて臨んでいきたいと思っております。本年もよろしくお申し込み致します。

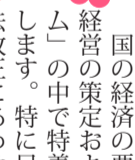
和歌山支部長



介護老人福祉施設緑風苑  
施設長  
村田 静弘

皆様、明けましておめでとうございます。活気あふれる中、平成28年正月を迎えることができました。この勢いを永久にと誓いつつ、皆様と共に新年の喜びを満喫したいと思っております。本年もどうぞよろしくお申し込み申し上げます。

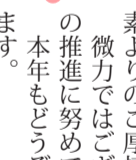
鳥取支部長



社会福祉法人賛善会  
理事長  
田中 彰

国の経済の悪化を踏まえ、堅実な特養経営の策定および「地域包括ケアシステム」の中で特養が果たしうる役割を検討します。特に目前に迫った社会福祉法人法改正にあわせた整備を他法人とも情報交換をしながら行います。

鳥根支部長



医療法人昌林会  
理事長  
杉原 建

あけましておめでとうございます。平素よりのご厚情に感謝申し上げます。微力ではございますが、ユニットケアの推進に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお申し込み申し上げます。

徳島支部長 武久 洋三  
社会福祉法人平成記念会  
理事長  
武久 洋三

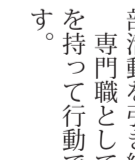
福岡支部長



社会福祉法人誠和会  
理事長  
牟田 和男

新春のお慶びを申し上げます。ユニットケアの発展のため、さらなる会員増加に努めるとともに、県内会員施設間の親睦を図っていききたいと思っております。

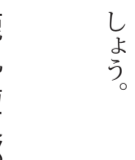
長崎支部長



特別養護老人ホームのぞみの杜  
施設長  
池原 香

明けましておめでとうございます。前神之浦文三支部長の後任として、支部活動を引き継ぐこととなりました。専門職としての介護職員が自信と誇りを持って行動できるよう応援して参ります。

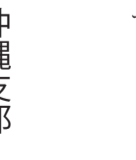
熊本支部長



社会福祉法人リテラライトホーム  
理事長  
小笠原 嘉祐

地域包括ケアシステムの構築の中で、介護・生活支援の中核となるケア施設として、その機能が十分に発揮されるように、しっかりとした評価が得られるように、今年も皆様方とともにがんばりましょう。

鹿児島支部長



特別養護老人ホーム慈眼寺園  
施設長  
川島 葉留美

新春のお慶びを申し上げます。高齢者の皆様、その人らしい生活を最後まで送られるよう推進協の理念を全う出来るように、幸福に満ちた社会への努力を惜しみません。皆様と一緒に未来へ進みたいと思

沖繩支部 上里 絹代  
特別養護老人ホーム東雲の丘  
統括本部長  
上里 絹代

謹賀新年



Vol.104

# 愛知県

社会福祉法人 せんねん村

地域密着型小規模特養

# やぞね せんねん村矢曾根の家



西尾市

## ～1000年先も続くいろいろなことに専念できる施設でありたい～

■法人の歴史・地域紹介  
社会福祉法人せんねん村（中澤理事長）は愛知県の西尾市（人口17万人）に在り、高齢化率は23・7%です。西尾市は西三河南部地域の中核的な都市として自動車関連産業が発展しています。一方で日本有数の生産量を誇る抹茶（てん茶）やカーネーション、養殖ウナギ、アサリなど農水産物の生産でも有名です。

せんねん村は、地域に根ざし、地域とともに成長することを目指し、21世紀を迎えた2001年1月、これから1000年先も続くように、そしていろいろなことに専念（せんねん）できる施設をという願いをこめ、特別養護老人ホームせんねん村を中心とする施設群が誕生しました。また、せんねん村では入居者の方を「村人さん」と呼んでいます。

■施設の紹介  
特別養護老人ホーム事業として、平成13年1月に「特養せんねん村（定員80名、中澤明子総舎施設長）」を、21年5月に地域密着型小規模特養「せんねん村矢曾根の家（定員20名、木下典子施設長）」、26年10月に「せんねん村矢曾根（定員100名、木下典子施設長）」を開設。いずれも全室個室・ユニット型施設として個別ケアを実践・提供しております。

せんねん村の理念は『このころのびのびからだいいきいきのちきりきり』です。「サービスを提供する私たちが一人ひとりの尊厳や個性を大切に生きる方をすれば、自然と相手は何を求めているか分かってくる。ケアのヒントは利用者様が持っている」と中澤総舎施設長は理念に掲げた思いを職員に語っています。

■周囲との調和を  
ベースにした建物  
矢曾根の家は、駅や商業施設が近くにあり利便性が高い場所です。地域に違和感なく溶け込むように、人にやさしく自然にも優しく、木をふんだんに使ったフロア、落着きと安らぎを感じる雰囲気として平屋建て、トイレ付きの個室（13・2㎡）となっております。地域との距離を縮め、誰もが気軽に立ち寄れるような雰囲気です。



せんねん村矢曾根の家 施設外観

■地域との連携を大切に  
矢曾根の家では、町内会に加入し、川さらい、草取り、神社の掃除、総会などへ参加し、地域とのお付き合いを大切にしています。村人さんにとっては施設は今まで過ごしてきた地域ではないけれど、第2の我が家にいるという感覚を大事にしたいという思いから、施設と地域との繋がりを大切にしています。

■死を大切に  
せんねん村ではお亡くなりになることを「風になられる」と表現しています。「住み慣れた部屋で最期までその人らしい」終末期を迎えられよう、看取りケアに力を入れていきます。契約時にご本人とご家族に延命治療や胃ろうなどご意向をお尋ねし、「事前指図書」を記入していただいています。書面にしておけば、急変時でも意向に沿って対応できます。最期まで尊厳ある生を全うすれば、ご家族は後悔せずに済みます。「人生いろいろあったけれど、せんねん村で過ごした日々が一番良かった」と思っていただけのように願っています。

■毎日の生活に潤いを  
人と動物の関わりを大切に  
トレーニンングを受けた犬がセラピストと共に訪問して

くれます。犬好きな村人さんは、普段は身体や表情の動きが少ない方でも、犬の姿を見たり触れたりすることで、豊かな表情で動物に話しかけたり、犬の話で発語が増えたりします。また、普段は動かさない手で優しく犬を撫で始める姿が見られたり。ユニット内はほのぼのとした時間が流れます。



犬に触れることで自然と笑顔に。傾聴ボランティアの受入れ。

「話し手の気持ちに寄り添い、お話を聴き取る」傾聴ボランティア活動の受入れを積極的に行っています。出来るかぎり静かな空間で、一対一で向き合い、村人さんがいきいきと語られ、時には沈黙も大切にしながら、「誰かに聴いてもらえる」時間をより多く持っていただけのように心がけています。話し終わった後の村人さんは、次の訪問をとても楽しみにされています。

〜お花に触れる時を〜  
たぐさんの花を抱えたセラピストがユニットに入ってくる、村人さんは「きれいな花ですねえ」「あれは何という花かな？」と穏やかな表情で会話が生まれます。セラピストのお花の紹介からスタートし、会話を弾ませながら思い思いにお花を話かけられます。花の種類や色、大きさなどを一つひとつ確かめながら活ける方、香りを楽しみながら活ける方、迷いなく活ける方など、各々集中して取り組まれています。



上 傾聴ボランティア  
下 思い思いにお花を話かけて

〒445-0872 愛知県西尾市矢曾根町蓮雲寺 55-1 電話：0563-64-0093 FAX：0563-64-0094 E-mail：sennen-mail@sen-nen.or.jp

【特養】定員20名

連載 第1回

## 認知症あれこれ



### 認知症の歴史 痴呆から認知症へ

現在、全国に462万人（2012年）の認知症者がいるといわれており、65歳以上に当てはめると約7人に1人の割合となります。また、2015年1月に厚生労働省が推計した数字では2025年には700万人（約5人に1人）になると言われています。

では、そもそも「認知症」とはいつごろから言われ始めたのでしょうか。症例が初めて報告されたのは1906年にオーストラリアの精神科医のアルツハイマーが症例報告で「脳の萎縮」と「老人斑」が見られると報告したのが始まりとされています。これが今ではアルツハイマー型認知症という名で通っています。

日本はかつては痴呆と呼ばれていた概念もありましたが、2004年に厚生労働省の用語検討委員会によって「認知症」に言い換える報告がまとめられ、行政や高齢者介護において「痴呆」から「認知症」へ置き換えられた経緯があります。

特別養護老人ホームは1963年の老人福祉法の制定に伴って創設されました。今では認知症の高齢者の方が入所されていますが、その当時は入所を認めていなかったとも言われています。それは、「認知症＝精神疾患」ととらえられていたからです。

認知症の方のことを、「何もわからない人」「困った人」、また、認知症の示す様々な症状をかつては「問題行動」と呼んでおり、やっかいな行為というこの呼び方は、介護を困難にさせる意味で使われていました。認知症ケアは、当初は身体介護中心の問題対処型ケアが中心でしたが、その後はアクティビティ中心の集団対応型ケアに移行し、近年では認知症その人を中心とした支援の考え方に変わってきました。

（社会福祉法人兼愛会）  
しょうじゅの里鶴見 施設長  
認知症介護指導者 秋津克巳

はだの松寿苑の理念には「地域社会福祉を創造する」とあり、地域交流を大切にしています。

一例として、地元中学生の高齢者体験学習や、商工会議所と共に親子高齢者体験を開いています。その他に近所の方にも利用できる喫茶店を営業する等、地域と交流を持つ機会を創っています。

また、入居者のために、カラオケや活け花の講師として、ボランティアさんに積極的な参加を呼びかけています。更には秦野市初となる自治会と防災協定を結び、地域と施設とがお互いに助け合いながら安全、安心を創り出しています。地域に根ざした施設でありたい、それが松寿苑の願いです。

（入居係長 小須田 博一）

社会福祉法人 寿徳会  
はだの松寿苑（神奈川県）  
施設長：久保谷 勤

## 地域交流 地域と施設が共助



ボランティア講師による生け花の様子



市長をお招きして行った商工会議所のイベントでの集合写真



親子で高齢者・介護者体験

当施設では、ご縁があって、毎年、九州場所での巡業を終えた力士の方々（高田川部屋の力士：櫻さん、大乗さん、暁さん、三役格行事：式守勲太夫さん、佐渡ヶ嶽部屋の三役格呼出し：琴三さん）が訪れ、施設入居者及び地域の方々と交流を深めてくださっています。

当施設の利用者様の平均年齢は86才、相撲に慣れ親しんでこられた世代で、相撲の時期になるとTVでの観戦を楽しみにされています。中には福岡国際センターや両国国技館まで足を運ばれた方もいらっしゃいますが、高齢になってからはTVでしか見られないものと諦めている方も…。

そんな中、高田川部屋の全面的なご協力により、模擬相撲や相撲甚句、相撲太鼓、ちゃんこ作りなど、実際に見て聞いて触れて体験できる大相撲「共生の里津福場所」を今年も開催しました。

入居者の皆様も笑顔があふれ、思い出に残る時間を過ごすことができました。（生活相談員 三原由香里・富安聡司）

力士の大乗さん、暁さんの取り組み



力士の櫻さんのちゃんこ作り



手際がいいね～いい香り☆

## 現役力士と交流イベント

あたたかくて、気持ちいい♡



はっけよーい！のこったのこった～

# 介護ニュース・ダイジェスト

12月1日～12月31日

介護に関する政府機関や民間団体の動きを掲載しています。詳細は厚労省や各団体のHPなどをご覧ください。

## 自己負担原則2割(12月7日)

政府の経済財政諮問会議は財政健全化に向けた改革工程表を公表した。集中改革期間(2016年度～18年度)に介護保険関係では①高額介護サービス費制度の見直し②利用者負担の在り方等の見直し(原則2割化などは審議会で検討)③介護納付金の総報酬導人④軽度者への生活援助サービス・福祉用具貸等の見直しなどについて結論を出し、改革案を国会に提出する。

## 特養の27・3%が赤字(12月8日)

福祉医療機構(WAM)の「平成26年度 特養の経営状況」によると、赤字施設が1・0ポイント増え、27・3%。利用率が低く、定員1人当たりの職員数が少ない施設で赤字の割合が高かった。「人材確保が喫緊の課題」と分析。

## 介護実調見直し案を了承(12月8日)

介護給付費分科会・介護事業経営調査委員会は、厚労省が示した介護事業経営実態調査見直し案と消費税率10%取り扱った案を了承し、分科会に報告することを決めた。

### 【介護経営実調見直し案】(要点)

#### 1、調査対象期間

○介護事業経営実態調査(実態調査) 介護報酬改定後2年目の1年分の収支などとする。

○介護事業経営概況調査(概況調査) 改定前後の2年分の収支など。

2、追加調査項目(注) 次回の概況調査から追加されるのは以下の3項目に。

①長期借入金返済支出 建物など相当程度の支出が見込まれる介護老人福祉施設や介護老人保健施設など10施設が対象。長期借入の対応策。  
②税引後の収差比率 税引前の収支差率に合わせて調査する。  
③国庫補助金等特別積立金取崩額を「介護事業収益」から「介護事業費用」へ移行。

【消費税率引き上げの取り扱い】 平成28年以降のスケジュール 1～3月ごろ 概況調査の調査票の決定・関係団体ヒアリング(委員会が実施) 4～7月ごろ 論点整理・概況調査の実施

8～12月ごろ 論点の検討・概況調査の集計分析・消費税率10%対応 29年4月 消費税率10%へ引き上げ(予定)

## アセッサーの配置を(12月10日)

厚労省の介護プロフェッショナルキャリア段階検討会で「内部評価するアセッサーを施設に配置してはどうか」との意見が多数出た。現在、アセッサー資格者は約1万2000人。

## ローカルルールの問題点を指摘(12月14日)

全国老人福祉施設協議会は介護報酬改定に伴う自治体・保険者の対応に関する問題点(不備や遅れなど)をまとめ、厚労省を通じて、適切な対応を求めた。

## 介護実調1年に延長(12月14日)

介護給付費分科会は介護事業経営調査委員会がまとめた介護事業経営実態調査の見直し案と消費税率10%対応案を了承した。▽実態調査と概況調査の期間を1カ月から1年に延長▽消費税率10%対応は来年1月ごろからヒアリングを開始するなど12月8日の同委員会の項を参照。

## マイナンバー運用を明示(12月15日)

厚労省は介護保険制度に関するマイナンバーの運用方法について自治体などに通知した。自己管理が困難な高齢者についてはナンバーの記載がなくても申請を認める。

## 「介護離職ゼロ」で税制要望(12月15日)

全国老人福祉施設協議会は「介護離職ゼロ」に関連して①賃貸物件で運用する特養の固定資産税を時限的措置として

「非課税」とする②介護職員処遇改善加算を「非課税」とする③育児・介護従事者の給与所得に「特別基礎控除」を創設するなどを求めた。

## 補正予算案まとまる(12月18日)

政府は「一億総活躍社会」の事業などを盛り込んだ平成27年度補正予算案を閣議決定した。総額は3兆3213億円。うち厚労省予算案は6874億円。「介護離職ゼロ」の緊急対策として▽都市部を中心とした在宅・施設サービス整備の加速・支援の拡充として地域医療総合確保基金(介護分)の積み増し921億円▽介護人材対策の加速化として地域医療福祉総合確保基金(介護分)の積み増し119億円▽介護ロボット等導入支援特別事業52億円などを盛り込んだ。

## 補正予算案の概要を説明(12月22日)

全国介護保険・高齢者保健福祉担当者会議が開かれ、厚労省は補正予算案に盛り込んだ「介護離職ゼロ」の事業などについて説明した。12万人分増の整備を進める▽社会福祉法人が都市部で特養を設置する場合、建物は貸与でも構わないよう緩和する一などとした。

## 28年度政府予算案決まる(12月24日)

政府は平成28年度予算案と税制改正大綱を閣議決定した。次の通常国会(1月4日～6月1日まで会期150日間)で審議する1面に予算案の要点を掲載。

### 【新類型2案を了承(12月25日)】

第6回療養病床の在り方等に関する検討会は、厚労省が示した介護療養病床と医療療養病床(25対1)転換後の新たな受け皿となる新類型2案(3タイプ)を大筋で了承。次回1月15日の会合で報告書を取りまとめる。2類型3タイプは「医療内包型1案1」(容体急変のリスクがある入所者に対処)、「医療内包型1案1-2」(容体安定の入所者が対象、オンコールによる看取りなどが可能)、「医療外付型2案」(容体安定の入所者が対象、居住スペースに併設した医療機関が医療サービスを提供)。構成員から「1案1-1と1案2の区別が分かりにくい」などの意見が出た。(了)

## ズバリ回答！ 人事・労務のお悩み

### ◎管理職手当と時間外労働



#### 【今月の相談内容】

管理職手当を支給しています。慣例で割増賃金を計算しないことになっていました。この度、在籍中に管理職手当をしてきた職員から、退職後に残業の未払いがあるとして、この管理職手当を計算に入れたところでの過去2年分の差額請求が行われました。割増賃金の計算の基礎としなければならぬのでしょうか？

#### 【回答】

管理職手当が、時間外労働にかかる賃金に相当する金額等として明確であれば、割増賃金の計算に入れなくても良いとされています。これは、いわゆる定額残業代の考え方と類似しているといえます。

明確にするためには、管理職手当が時間外労働手当である就業規則に規定していない限り、時間外労働手当としては認められない可能性が高いです。特に管理職手当の場合、支給対象となっていない管理職が労働基準法上の「管理監督者」には該当しないことも少なくなく、時間外労働手当を支給する義務のある事が多いです。

管理職手当の内訳として、時間外労働手当である部分と役職に関する責務に対する支給の部分がある場合は、これらを明確にしておく必要があります。管理職ともなればそれ相応の給与が支給されます。

時間外労働手当の金額が、実際に計算をした時間外労働手当の額に満たない場合は、その差額を支給する義務が生じます。社会保険労務士の専門職などに、相談しながら、紛争になる前に管理することをお勧めします。

先月号において、マイナンバーのマニュアルをいくつかご紹介いたしました。ただ、現在もお実際の運用方法が変更、あるいは解釈が修正されてきているものがあります。これらの変更等の動向は今後も起こってくる予想されます。今後の動向も踏まえ、また機会をみてご紹介いたします。

(監事・社会保険労務士 栗田淳二)

一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会  
第10回 全国研修大会in新潟2016

2016 NIGATA

「まち」、「ひと」、「ケア」で 結ぶ地域づくり  
～これまでの10年、これからのトキめく地域を創造する～

平成28年 11月24日(木)～11月25日(金)

会場: ANAクラウンプラザホテル新潟  
会長: 田中 政春 (社会福祉法人長岡三古老人福祉会)  
実行委員長: 佐藤 真弥 (社会福祉法人河渡の郷福祉会)

## こちら傍聴席



### ◎勝手に10大ニュース

○: 忘年会からの帰り、厚労省を担当する政治部、経済部、社会部の記者3人が、2015年介護10大ニュースで盛り上がった。「介護報酬改定9年ぶりのマイナス改定(▲2・27%)」(4月1日)のトップには異論がなかったが、酔いも手伝ってか、残り9件をめぐって大いに盛り上がった。

○: 政治部記者は「外国人技能実習制度に介護を追加」(1月26日、検討会中間まとめ)、「社会福祉法等の一部改正案」(4月3日、国会提出、継続審議)、「安倍首相が一億総活躍社会実現・介護離職ゼロを表明」(9月24日)の3件を挙げた。

○: 経済部記者は「社会保障費の伸びを3年間で1・5兆円ほどに圧縮」(6月30日、骨太方針)、「ワタミが介護事業を東亜損保ホールディングに売却」(10月24日)、「利用料原則2割負担を建議」(11月24日、財政審)とやはり「カネ目」の話。一方、社会部記者は「利用者目線」から「第1号保険料5000円突破」(4月28日)、「一定以上所得者2割負担」(8月1日)、「S・A・M・U川崎幸町に業務改善報告」(11月13日)を推し、ちょうど10件で収まった。(稿)

#### 【用語解説】 特定個人情報って？

前月号の用語解説で「個人情報」を取り上げましたが、今回は「特定個人情報」について解説します。

特定個人情報とは、「個人番号(マイナンバー)とそれに紐づく個人情報」のことで、個人情報保護法と番号法が適用されることとなります。\*マイナンバーそのものも、特定個人情報となります。\*特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドラインでは4つの項目(①取得・利用・提供ルール、②保管・廃棄のルール)③委託のルール④安全管理措置のルールが規定されています。\*詳細については、所轄行政機関にご確認ください。

#### 今後の予定

- 28年3月8日(火) 13時半～16時半 推進事業合同会議(品川区きゅりあん)
- 28年3月15日(火) 14時～16時 27年度第3回理事会(大田区産業プラザ)
- 28年6月2日(木) 第11回社員総会(大田区産業プラザ)
- 28年度第1回理事会(大田区産業プラザ)

#### 事務局からのお知らせ

【支部の活動お知らせください】 ニュースに掲載いたしますので、支部での活動予定や活動実績等、事務局までお知らせください。5日までに送っていただいた情報はその月に掲載いたします。

【施設での活動記事募集】 施設での取り組みや行事等のエピソードがありましたら、事務局までお寄せください。

【お問合せ先】 045(921)0462 info@suishinkyō.net 事務局山崎まで。